

座間市立栗原小学校 学校運営協議会 会議録

会議の名称	第2回 座間市立栗原小学校 学校運営協議会		
開催日	令和5年7月24日(月)		
開催時間	10時00分～11時50分		
開催場所	座間市立栗原小学校		
議長	栗原小学校 CS 担当教諭 藤沖 亮		
出席者	19名(委員7名・校長・教頭・教務・CS担当・総括教諭2名・教諭6名)		
傍聴の可否	可	傍聴者数	無し
会議の内容			
<p>【議題】</p> <p>①開会挨拶 ②委員長挨拶 ③情報交換「学校や地域の現状と課題」 ④熟議「育てたい栗っ子像について」 ⑤その他 ⑥閉会挨拶</p>			
<p>【主意見・決定事項など】</p> <p>①校長：コロナ収束後、新しい教育活動を展開中だが、課題山積。協力して考えていきたい。 ②委員長：自治会加入率が4割を下回り、地域力にも課題がある現状。 ③【学校の課題】不登校・登校渋り児童の増加→R4は矢野さんを中心としたマロンルームを展開。 R5は職員を中心とした学びの教室を展開中。 SNSトラブル増加→家庭でのルール徹底及び情報モラル教育推進が必要。 外遊びする子の二極化→放課後の遊び方の二極化、地域の遊び場減少。 学習習慣の欠如→ゲーム・YouTubeの中毒性、スマートフォン依存が増加傾向。 【地域の課題】地域の人材・人手不足が顕著→自治会・消防団・PTAの担い手不足。 関係の希薄化。地域と繋がる価値を感じていない 保護者の増加。取り組んでいる側の発信力を高める必要性有。 不登校の背景に迫っていく必要→地域・PTA・学校とで連携して未来に向けて策を練っていく必要有。</p> <p>④【グループ協議】 A:不登校児童への対応は、価値観が多様化している今、学校現場だけでは限界有。 SNSの管理、家庭環境、生活習慣等、介入しづらい要因に、地域と連携して向き合う必要有。 B:明るく元気な子。自分も周りも大切にし、前向きに何事も取り組める子。地域を愛する子。 C:自己有用感を高め、他者との関わりを大切にする子。</p> <p>⑤1学期の支援ボランティアの感想：校内に入る機会がない為、非常に楽しかった。 実際に活動することで、先生方の苦労がわかった。</p>			
<p>【配付資料】</p> <p>①会次第 ②出席者名簿 ③学校支援ボランティア協力依頼に係るカレンダー ④確かな学力をつけるために学校では家庭では(4月保護者会便り) ⑤教育講演会実施要項 ⑥ひまわりプラン ⑦学校要覧</p>			
次回開催予定	令和5年	11月	8日(水) 15時00分